

# 運動部活動の充実、 体力、技術力の 向上を図る

## 東京都日野市立日野第二中学校

全校生徒数	321名(男子183名 女子138名)		
全クラス数	10	教職員数	25名(内体育専科3名)
運動部活動	7	運動部活動参加率(全学年)	90.5%
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)			4人

### 取組時の課題と目的

#### 1 取組時の課題

生徒数の減少により運動部活動参加人数に大きな偏りが見られるようになり、年度や種目によっては、チームが組めない、練習が満足にできない、対外試合に出場できない等、活動が困難になることもあります。

また、専門的な指導ができる教職員が少ない、運動種目が限られている(生徒数、教職員の減少等による人不足)等の問題もあります。

#### 2 取組の目的

- ①小学校との連携を深め、活動を理解させ、生徒の主体的な活動を促す。
- ②生徒主体の部活動の充実を図るため、地域の人材を活用し、より専門的な指導、体力、技術力の向上を目指し、運動やスポーツへの興味・関心を深める。
- ③アスリートによる講演、実技指導を通して、運動やスポーツの楽しさ、達成感等を体験する。

### 取組の内容(右ページも参照)

#### 1 小学校と中学校の連携

##### (1) 交流会の取組

平成20年度より、小中交流会を年3回実施しています。生徒会役員が小学校に出向き、6年生に中学校説明会を実施しています(学校、授業、特別活動、質疑応答等)。さらに授業参観や学校公開、学校行事(合唱祭審査員等)で年々交流を深め、児童・生徒が互いの様子を見学する等、情報を共有しています。

部活動体験は近隣の小学校2校で、当初は隔年での実施でしたが、小学校側から毎年実施する方向での要望があり、時期をずらして2校とも実施する方向で検討しています(平成24年度は2校とも実施)。

##### (2) 部活動体験の充実

- ①事前に中学校の部活動(実施要項)を小学校に送り、理解を深めてもらいます。
- ②小学校側が中学校を訪問し、部の活動と各部長による部紹介の記録(VTR)を6年生に紹介し、部活動体験希望調査を実施、中学校に報告します。
- ③中学校、生徒会役員会、部長会にて、学校説明、部活動体験計画を検討、実施準備を行います。生徒が主体的に活動できるよう指導、助言し、部活動体験の当日は生徒中心の活動をしています。

#### 2 地域の人材の活用(外部指導員)

各部活動に顧問を配置していますが、専門的な指導ができる顧問が少なく、管理顧問になりがちです。種目によっては、審判をしないと出場不可等の条件もあります。このような現状から、保護者、卒業生、地域の人材を活用して、専門的な指導の充実を図り、体力、技術力の向上を目指しました。また、生徒が主体的に活動できるよう支援し、部活動の活性化を図っています。

- ①外部指導員は、大学生以上、年度当初に管理職が面談を行い、原則1年契約としています。
- ②指導にあたっては、練習前に顧問と打ち合わせを行い、生徒の安全、健康には十分に留意するようにしています。

#### 3 アスリートによる講演、実技指導

生徒たちはアスリートの講演を聞き、運動やスポーツへの興味・関心を深めるとともに、気持ちの持ち方や生き方等、多くのことを学びました。

また実技指導では、アスリートの動きを実際に見て、身体をしっかりと動かし、有意義な時間を過ごすことができました。

#### ●工夫したこと

- ①地域の人材の活用、PTA、育成会、公共機関(市教育委員会、警察等)に協力を要請、人材の要請。
- ②都の企画に応募、アスリートの派遣要請。

### 取組の成果(右上の表を参照)

- ①生徒会活動の活性化、自主的活動が多くの場面で見られ、各種目の大会結果にも成果ができました。
- ②生徒の活動が具体的に評価され、感動や達成感が得られ、部活動加入率がよくなり、体力、技術力の向上につながりました。
- ③小学生へ指導することで、自分の技術を再確認したり、練習内容を工夫できるようになりました。また、年下の児童への指導や接し方を考えることで、先輩・後輩の間でもよりよい関係を築けるようになりました。

### 今後の課題

- ①生徒の体力、技術力の向上のための指導力の向上と、目標をたて、自分で努力する指導の徹底を目指します。
- ②施設、設備の老朽化に伴い、安全面での配慮が必要になっています(グラウンド状況の悪化、体育館の老朽化等)。

●学校質問紙調査回答より(H24)

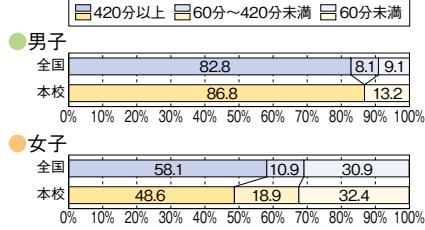
問2-2 運動習慣確立のたぐいで

- 1 時間確保(休み時間)
- 2 保護者への働きかけ
- 3 地域連携
- ④運動部加入率向上
- 5 その他

問4-2 運動時間の少ない生徒に対する取組

- 1 時間確保(一斉運動)
- 2 個人差・発達の考慮
- ③体力向上の意義理解
- 4 女子への啓発
- ⑤意欲関心を高める
- 6 楽しさを感じさせる
- ⑦新体力テストの活用
- 8 地域・家庭との連携
- ⑨運動部への参加促進
- 10 その他

●1週間の総運動時間の分布(H24)



●体力合計点と総合評価の割合

	男子		女子		
	H21	H24	H21	H24	
体力合計点(点)	38.5	41.8	46.6	46.1	
総合評価(段階別)	A	4.2	2.6	11.5	7.3
	B	14.6	28.9	36.1	41.5
	D	33.3	28.9	9.8	9.8
	E	6.3	0.0	1.6	0.0
	AB-DE	-20.8	2.6	36.2	39.0

①小中連携「交流会」の取組

生徒会役員による学校説明



各部活動、部長による説明



小学6年生による部活動体験



②地域の人材の活用



③アスリートによる講演、実技指導



「全校道徳」元全日本ソフトボール監督の講演

